

## 平成28年度佐渡市第1回将来ビジョン等策定・推進会議 会議録（概要）

- I 会議の名称 佐渡市将来ビジョン等策定・推進会議
- II 開催日時 平成28年10月6日（木）午後3時から午後5時まで
- III 場所 佐渡市役所3階 大会議室
- IV 議題
  - 1. 開会
    - 市長あいさつ
  - 2. 議題
    - (1) 佐渡市将来ビジョン等策定・推進会議開催要綱について
    - (2) 座長選出
    - (3) 佐渡市将来ビジョン（現行）について
    - (4) 佐渡市将来ビジョンの見直しの方向性及びスケジュールについて
    - (5) 意見交換
    - (6) その他
  - 3 閉会

### V 出席者

別紙名簿のとおり

### VI 会議の概要

#### ●開会・市長 挨拶

佐渡市将来ビジョンは、平成31年度の佐渡市のあるべき姿を明確にし、それに向けて市政運営を進めるため平成21年12月に策定したものの。その後、平成25年12月に見直しをし、市の最上位計画として位置づけたところ。

その後、普通交付税の算定の見直しが行われ、財政状況において実態と乖離が生じているほか、まち・ひと・しごと創生法が国で制定されたこと、さらに今年4月には特定国境離島特別措置法が可決されるなど佐渡市を取巻く環境に変化が生じてきているため、来年度の施策と併せて、あらためて平成31年度に向けての見直しを進めている。

この見直しにあたっては、本会議の皆様方から闊達なご意見・ご助言をいただくほか、今後、市民アンケートを実施するなど広く島民の皆さまからもご意見をいただきながら、市民目線に立った見直し版の策定に努力したい。

この見直しを踏まえて、その後の10年計画の策定に平成29年度以後入らなければいけないので、その前段階の修正作業になるということをご理解いただき、これからの協議をよろしくお願いしたい。

#### ●議事

- 1. 佐渡市将来ビジョン等策定・推進会議開催要綱について
  - ・会議資料により総合政策課長が説明
- 2. 座長選出

・参加者の互選により、新潟大学の池田哲夫名誉教授を座長に選出し、座長の指名により、新潟県中小企業家同友会の柴原行雄支部長を副座長に選出。

3. 佐渡市将来ビジョン（現行）について

4. 佐渡市将来ビジョンの見直しの方向性及びスケジュールについて

・会議資料により総合政策課長が説明

（委員）

平成31年度の乖離は普通交付税なのか地方交付税なのか、普通交付税額が148億円だとすれば40億円位の乖離になるか。

見直しの方向性で、特に災害を章立てした意図は何か。従来、人材育成を5章にあげていたのを4章の子育て支援の中に入れていたのはどのような考えか。

見直しの方向性、3章の（4）災害に強い道路作りの推進というのは、5章に入るのではないか。3章の内容はロングライドやスポーツツーリズムを考えた時に、「安全に交差が出来る片側1車線化の推進」というような形で考えた方が良くはないか。

（佐渡市）

ご質問の大半については、次の議題で回答させていただきたい。財政計画の事実確認については財務課より回答させる。

（佐渡市）

普通交付税が平成31年度で約148億円と推計している。そこから約30億円増額になるだろうということで31年度の交付税を今のところ180億円で推計している。

（委員）

平成28年7月に策定した公共施設等総合管理計画は、この中には入っていないのか。来年度からの有人国境離島関係は、ここでの協議の対象にはならないのか。

（佐渡市）

公共施設等総合管理計画は、次回にはその概要を事前にお知らせをさせていただきたい。有人特定国境離島特別措置法については、具体的な制度については、まだ国と県と市で協議をしている段階。概要についてはお示ししたい。基本的な概念を盛り込んだビジョンの見直しを議論していただきたい。

（委員）

従来のビジョンには庁舎は新しいものを作ると掲げてあったが、どのようにされるのか。この後、アンケート等も計画されているようだが、それを取り入れた考えにするのか。今後の方向性をお聞きしたい。

（市長）

庁舎については「庁舎整備基本構想」として、現状の支所・サービスセンターも含めた庁舎を極力、長寿命化して、可能な限り活用しようという前提で、トータルでの整備計画を平成31年度までの部分について、明記・説明していこうと検討している。

## 5. 意見交換

(委員)

公共施設等総合管理計画を加味しながらいうことだが、今後の1年あたりの平均整備額を134億円と推計しながら、過去5年間の整備額は96億円程度であると計画の概要版に書かれている。差額として概ね40億円が不足している。この辺の財政をしっかりと盛り込む計画にしていきたい。

3章の災害に強い道路づくりというのは当然必要であるが、入れるとしたら5章の災害に強い島づくりに入れるべきで、3章には道路の整備の中で観光やスポーツツーリズムということもあるので、安全に交差できる片側1車線化の推進ということが盛り込めないか。

また、長寿命化の中で橋りょうや道路についてはかなり老朽が進んでいるので、それらの整備を積極的に取り組み、交通の安全を確保することも考えていきたい。

起業・第二創業については、かなりの補助制度があるので、建設業協会としてはこの制度の中で十分運用させていただいているものと感謝申し上げます。

従来、5章に人材育成があったが、今回地域防災体制として防災を取り上げ、人材育成を4章の中に入れた意図は何か。

(佐渡市)

災害に強い道路づくりの推進をどこに位置づけるのが適切なのかという議論であるので、いただいた意見を踏まえて、例えば、5章の災害に強い島づくりにも同じ内容のものを再掲という形で載せるなど、適切な位置にすることを検討したい。

人材育成を4章の「佐渡の地域づくり」に入れたのは、「地域づくりは人づくり」と一般的によく言われることであり、反映をさせた。これにより、観光や産業振興において、人づくりが重要でないということは意図しておらず、最終的に文書に落としていく中でその色合いが出てくるようにしたい。

(委員)

合併されたことによって不公平なところが出来たような気がする。一極集中型になって、周辺部は随分さびれてきて、住民は困っている。運動会をしても人数がいない、子どもがいない、合併されたことによって行事も少なくなったことで困っている。

(佐渡市)

非常に大きな課題だと認識している。特効薬がないものであるため、大きな課題ということで意見として承り、今後の検討とさせていただきたい。

(委員)

佐渡には、長い歴史の中で培われた文化財が数多くあるが、住んでいる我々がどれだけ大切に思ってそれを活用しようとしているのか。寺や神社を大きな佐渡の観光資源、地域振興の文化財として見直すということがとても重要である。博物館や資料館の中には常に休館のものがあり、訪問希望者は連絡をしなければならず、とても残念。古民家も文化財として、十分に佐渡の価値がアピールできるものではないか。

(佐渡市)

文化財の利活用については、観光に取り込めるような仕組みづくりを検討し、取り組みを進めてまいりたい。博物館についても、観光客が訪れるような仕組みを考えたい。

(委員)

20年前に比べると、今は移住者、島外から嫁いだ方がたくさんいる。このまま移住者の増加を維持できる島づくりをこれからも心がけていただきたい。今年の夏の観光客からの意見で最も多かったのは、「佐渡はアピールが下手」というもの。観光に取り組むうえでもっと島外発信を続けていって欲しい。子育てに関しては、今月から七浦小学校に学童保育が開設されて、本当に助かったという保護者が大勢いる。保育園や小学校の統合、古くなった保育園・小学校を安全に建替えるということも大切だが、地域に子どもを残すことも守っていただきたい。

(委員)

私どもも3年間の佐渡地域の振興に向けた取組指針というものを作っているが、それが見直しの段階にきており、来年度から新たな3年間に入ることになる。

佐渡市将来ビジョンについても、十分に市と緊密に連携をさせていただき、役割分担をする中で、佐渡地域が最高に活性化していく方向性を見出して参りたい。

(委員)

宿泊施設ではほとんどの食材を本土から取り寄せていたり、海外から本土へ来たものを取り寄せていたりする状態にある。本当にそれが安心安全に結びつくのか、食べ物だけは地産地消が非常に大事になってくる。

佐渡を世界遺産というわりには、飛行機が全然載っていないというのが非常に残念。世界遺産となれば、世界の人たちが佐渡に来たくなる環境づくりをしなければならないが、飛行機が無くて安心安全な旅行計画プランを立てて佐渡へ来られるかということ、夏はそれなりだが、冬となれば安心して佐渡へ来ることは無いと思う。

安心安全で旅行が出来るような環境づくりをしてないのに世界遺産になり、観光客が70万人、80万人になった時にその体制をどう考えているのかということが一番懸念している。なぜ世界遺産がとれないかということ、安心安全で佐渡へ行って帰れない、計画が立てられないということが一番大きな要因である。

(委員)

いま佐渡で一番大変なのは林業。昔は佐渡の木材は強いと言われたのが、今では外国の製品の方が安くて強いと言うような宣伝に惑わされている。いま佐渡の山は、全く荒れ放題である。なんとか昔の山に返すような方向で方針を立てていただき、市民は全員そこへ参加するような何か大会をお願いしたい。佐渡の山が復活すれば松茸は豊富に採れる。佐渡の山が綺麗になれば、魚も島の周辺に寄ってくる。佐渡の山の復活を何とかして欲しい。

(委員)

水産について、鮮度管理を重視した佐渡産水産物のブランド力の強化を謳ってあるが、

最近の動きとして当然ブランド化が必要で、鮮度保持が必須条件であることは当たり前であるが、何と言っても販売が重要。

もう1つは養殖の問題。一番歴史があるのは加茂湖の牡蠣やワカメである。昔に比べれば値段が安いという問題があるが、これにはまた加工の問題等もある。さらに最近は大マグロまで実験事業でやるような世の中になっており、世界の流通量の6割は養殖だと言われている。安定供給に向けて養殖の課題を取り上げて支援することがあっても良いのではないか。

(委員)

お金や人材が無尽蔵にある訳ではないという現実もあるので、予算面、政策面でのある程度の選択と集中や優先順位付けというのは避けられないと思うし、これからの5年間についてはもっとその色を濃くしていく方が良いのではないか。

そういう意味で、外貨の獲得のための島外販売と島内循環の強化ということで佐渡の産業に大きな影響を与えるだろう観光業等による外貨獲得や、佐渡島内の良い物を島外に出て売るとインバウンドとアウトバウンドによる産業の発展というのが非常に良い効果を生むのではないか。この将来ビジョンの中に於いては政策面、予算面、選択と集中の色を濃くする必要があり、佐渡全体で一緒に発展していきたい。

(委員)

両津港・小木港等の賑わい空間づくりの推進について、佐渡も大事であるが、新潟港の港湾施設を含めて、まず、佐渡へ行きたくくなるような雰囲気を見たい。新潟港あるいは直江津港あたりから作っていただきたい。佐渡へ行きたくくなる雰囲気というのはいろんな作り方があろうと思うが、意識の醸成をはかるような施設の拡充をお願いしたい。

(佐渡市)

観光の分野、PRの問題、それから、地産地消、体験型に向けた取組など、ご指摘をいただいた。かなり弱い部分もあるので、いただいたご意見を踏まえて庁内で再度、検討させていただきたい。

委員からの文化財の活用について、正直、文化財はこれまでは保存していくということの前提で考えてきた側面があった。政府も、ようやく迎賓館の活用など、官邸主導で取り組んでいる。まさにこのタイミングで活用も含めた検討が必要だと考えており、観光振興課だけではなく、有形無形の文化財を担当している世界遺産推進課や、社会教育課も含めて協議し、どういったことが出来るのか庁内で検討させていただきたい。

空港の問題については、委員のご指摘の通りであり、しっかりとした記載が無いというのはおかしいということであるので、それも含めて検討させていただきたい。

また観光に関連して、島外の玄関口の部分についての賑わいあるいは雰囲気づくりについてのご指摘については、港湾管理者である新潟県や、所在市町村の上越市・新潟市とも話をしながら検討させていただきたい。

水産林業振興については、それぞれどこまで出来るのか農林水産課と協議をさせていただきたい。特に養殖については、魚種によって佐渡で成立するのかなというような技術

的な課題などもしたうえで、また意見交換をさせていただきたい。

最後に、地域づくりに関連して、周辺部の地域づくりを子育て支援を含めてきちっと見ていただきたいというご意見について、地方創生に関連する学童保育の充実などは、一部、国の財源を活用してきた。この問題については財源とも大きく関わってくるので、その辺のバランスも考慮しながら、皆様方のご意見もしっかり踏まえて地域づくりの面でどのように対応できるのか関係課でしっかりと検討させていただきたい。

(市長)

今回見直すのは平成 31 年度までという範囲であり、委員からご指摘いただいたように選択と集中を、今回の手直しの中ではどのレベルまでどう絞り込んで実現性を高めていくかということが一番念頭に置く必要がある。

文化財の活用、水産業、林業、農業、これらは大きな佐渡の観光資源の 1 つである。その中でどの部分から優先的に手をつけて改善、資源化するかという計画に併せて、観光でも誘客のターゲティングを絞ってアピールしていく必要があり、全て連動するものになる。それぞれの項目が個別に走らない、常に連動してまわれる形を作っていくことが一番大事である。

それを作ることが、最終的には島の中でお金が循環していくという島内循環の流れを作る 1 つの大きなキーポイントになると思うので、その辺も意識しながら今後、委員の皆さまに提案、ご意見をいただき、修正作業をしていきたい。

## 5. その他

(事務局)

次回については、11 月の中旬を予定しており、素案をお示ししたい。

### ●閉会・副市長 挨拶

佐渡市将来ビジョンは佐渡市の最上位計画であり、三浦市政の方向性を決める一番重要な部分になる。皆様の意見をしっかりとここに集約し、佐渡市を良い方向にもっていききたい。

以上